

再評価対象事業の概要

平成１８年８月
北陸地方整備局

平成18年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：河川事業 1 / 1）

番号	事業名称	区間	基本諸元	事業採択年度及び経過年次	区分	進捗状況 完成堤防率 H17末 ----- 実施中の事業	社会経済情勢等の変化		費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針 (原案)		
							過去の主要洪水及び被害状況						氾濫が想定される 区域内の市町村人口	
													S55	H12
	庄川直轄河川 改修事業	富山県 高岡市 射水市 砺波市 南砺市	管理延長：26.1km 計画高水流量：5,800m ³ /s (雄神基準点) 治水安全度：1/150 (参考：基本高水流量 6,500m ³ /s)	昭和62年度 19年 S62.3：河川法第16条に基づき工事実施 基本計画を改定	D	約66% ----- 弱小堤及び 水衝部対策	(大門地点流量) S50.8洪水 1,289m ³ /s S51.9洪水 2,646m ³ /s S58.9洪水 1,674m ³ /s H16.10洪水 3,396m ³ /s (避難勧告：1,400世帯)	38.3 万人	38.5 万人	総便益(B) 34,611(億円) 総費用(C) 1,342(億円) B/C=25.8	・流下断面不足の解消 ・老朽化構造物の改築等 事業促進要望 庄川・小矢部川改修促進 期成同盟会(4市)	事業を継続		

※ 区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業 E：その他

※ 主要洪水については基準点でのピーク流量を記載

平成18年度 第1回北陸地方整備局事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表（道路事業）

No.	県名	事業種別 ※1	路線 番号	事業名称	箇所名 (起終点)	事業概要	事業延長 (km) ※2	区分 ※3	事業化 年度	都市計画 決定又は 変更年度	用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 延長 (km)※4	全体 事業費 (億円)	事業 進捗率 ※5	費用 便益比 B/C	総費用 (億円)	総便益 (億円)	基準年	事業をとりまく社会状況等	事業の効果等	事業採択時より 再評価実施時までの 周辺環境変化等	事業の進捗状況 残事業の内容	事業の状況 及び 今後の見通し	工法の変更等	地方公共 団体の意見	対応方針 (原案)
1	新潟	2次	49	亀田バイパス	新潟県 新潟市曙町 ～ 新潟県 新潟市紫竹山	慢性的な交通渋滞の 緩和、沿線地域の振 興、活性化等を目的 とした事業。	6.95 (6.95)	D	S42	S46	S44	S45	6.95 (1.8)	185	94%	5.8 (22.1)	426 (21)	2459 (458)	H18	・一般国道49号亀田バイパス は、新潟市中心部と亀田・ 横越地区ならびに阿賀野市 等を結ぶ新潟都市圏におけ る南北主要幹線道路として 位置づけられている。 ・新潟市中心部への利便性 から、事業周辺における近 年の市街化や土地利用開 発の進展、交通量の増加に より、慢性的な交通渋滞が 生じ、その結果、残事業区 間において、処理能力不足 とそれに伴う旅行速度の低 下が生じている。	・現道等の渋滞損失時間を 削減 ・旅行速度の改善 ・新幹線（特急停車駅）へ のアクセス向上 ・特定重要港湾へのアクセス 向上 ・日常活動圏中心都市への アクセス向上 ・三次医療施設へのアクセス 向上 ・緊急輸送道路ネットワークの 信頼性の向上 ・CO2、NO2、SPMの排出削 減 ・拠点開発プロジェクトや大規 模イベントの支援	・当該事業周辺に各種 施設立地 ・交通量の増加 ・市町村合併	<事業の進捗状況> ・昭和47年 城所～鶯ノ子 暫定2車線供用 ・昭和48年 鶯ノ子～紫竹山 暫定2車線供用 姥ヶ山IC 完成4車線供用 ・昭和49年 袋津～城所 完成2車線供用 ・昭和55年 姥ヶ山～紫竹山 完成4車線供用 ・昭和58年 茅野山～姥ヶ山 完成4車線供用 ・平成13年 鶯ノ子IC立体化 <残事業の内容> ・曙町～茅野山IC 完成4車線供用	・曙町～茅野山IC (L=1800m)間の4車線に 向け、事業を推進して おり、H19年度供用を 目指す。	・一般国道49号亀田バイパスは、現道を活用した拡 幅事業であり、地形や土 地利用、主要幹線道路等 との接続などに配慮した 路線計画となっており、 期待される効果は大き い。 ・事業は地元・関係機関と の協議・了解により既に 用地買収が完了している とともに、構造、規格や施 設規模等は必要最低限で 計画している。 ・施工にあたっては、新技 術、プレキャスト製品の 積極的な活用、建設発生 土の有効活用や再生材 の利用等により、今後一 層の建設コスト縮減に努 める。	・新潟下越 地区国道 事業促進 協議会(5 旧市町村) ・新潟地区 土木振興 会(5旧市 町村) ・新潟県国 道49号整 備促進期 成同盟会 (8旧市町 村) 整備促進を 要望	事業継続

※1. (事業種別) 高：高規格、地高：地域高規格、1次：一般1次改築、2次：一般2次改築
 ※2. (事業延長) 上段：総延長、下段：()内書きで事業評価対象延長
 ※3. (区分) A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
 B：事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業
 C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
 D：再評価実施後一定期間を経過している事業
 E：その他
 ※4. (供用済延長) 上段：供用済延長、下段：()内書きで暫定供用延長
 ※5. (事業進捗率) 平成17年度末現在の事業費による進捗率(事業費ベース)
 ※6. (費用便益比) (総費用) (総便益) 上段：事業全体 下段：() 残事業区間

平成18年度 第1回北陸地方整備局 事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表(港湾整備事業)

番号	事業名称	箇所	事業概要	事業採択年度	区分	進捗状況	社会情勢の変化等	事業の効果等	費用対効果	今後の取り組み	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針(原案)
	新潟港 西港地区 防波堤整備事業	新潟県新潟市	港内静穏度確保による、航行船舶の安全・定期制の向上	昭和46年度	D	事業進捗率: 82%(平成18年度)	特になし	・静穏度向上による輸送コスト及び移動コストの削減	【総便益】 3,691億円 【総費用】 990億円 B/C=3.7	重点的に整備を推進	【整備促進要望】 新潟県 新潟市 新潟県港湾協会 新潟港振興協会	事業継続

区分の内訳 A:事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
 B:事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業
 C:採択前準備計画段階で5年間経過している事業
 D:再評価実施後一定期間経過している事業
 E:その他